

2019年度（2020年3月期） 連結決算概要

1. 2019年度（2020年3月期） 決算実績 <対前期>

(1) 決算実績のポイント 減収減益：減収は3期ぶり、減益は3期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	△1,343百万m <sup>3</sup>	工業用需要家の需要減等
電力販売量	+5,122百万kWh	件数増による小売販売量増および卸供給先増などによる卸販売量増
売上高	△371億円	都市ガス販売量減などによる「ガス」の売上減等
営業費用	△449億円	都市ガス販売量減および原油価格下落影響などによる「ガス」の営業費減等
営業外損益	+55億円	受取配当金 +26億円 持分法による投資利益 +25億円
特別損益	△629億円	(当期) 減損損失 △281億円 投資有価証券評価損 △186億円 契約精算益 +116億円 (前期) 固定資産売却益 +293億円 投資有価証券売却益 +64億円 投資有価証券評価損 △78億円
配当金		期末配当金は、1株当たり30円を予定しております（1株当たり年間配当額60円）。 上記の配当金により当社の還元方針である総分配性向6割を超えることから、 自社株購入は予定しておりません。

<2020年3月末現在連結会社数：連結子会社 82社、持分法適用関連会社15社> (単位:億円)

決算実績表	2019年度	2018年度	増減	%
売上高 (歴代4位)	19,252	19,623	△371	△1.9
営業費用	18,237	18,686	△449	△2.4
営業利益 (歴代15位)	1,015	937	78	8.3
経常利益 (歴代11位)	1,027	893	134	14.9
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代18位)	433	845	△412	△48.7

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライドタイムラグ(※)	13	△250	263
年金数理差異償却額影響	△76	△46	△30

(※) 原料費調整制度において原油価格の上昇(下落)に伴う原材料費の増加(減少)が売上高の増加(減少)に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2019年度	2018年度	増減
為替レート(¥/\$)	108.71	110.92	△2.21
原油価格(\$/bbl)	67.79	72.15	△4.36
平均気温(°C)(※)	16.7	17.0	△0.3

(※) お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したもの。

(2) 都市ガス・電力販売量

			2019年度	2018年度	増減	%
都市ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	3,124	3,240	△116	△3.6
	業務用	百万m <sup>3</sup>	2,497	2,609	△112	△4.3
	工業用	百万m <sup>3</sup>	6,397	7,413	△1,016	△13.7
	計	百万m <sup>3</sup>	8,894	10,022	△1,128	△11.3
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	1,837	1,936	△99	△5.1
	合計	百万m <sup>3</sup>	13,855	15,198	△1,343	△8.8

家庭用：件数減  
業務用：件数減  
工業用：発電専用需要家の需要減等  
他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：9,129 (対前期△692) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：11,954 (対前期+136) ※取付メーター数は、休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

			2019年度	2018年度	増減	%
電力	小売	百万kWh	8,522	6,555	1,967	30.0
	卸他	百万kWh	12,082	8,926	3,156	35.4
	合計	百万kWh	20,604	15,482	5,122	33.1

小売：件数増による販売量増  
卸他：卸供給先増等

(3) セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2019年度	2018年度	増減	%	2019年度	2018年度	増減	%
ガス	13,554	14,137	△583	△4.1	1,024	922	102	11.1
電力	3,586	2,803	783	27.9	101	101	△0	△0.2
海外	439	509	△70	△13.6	132	153	△21	△13.4
エネルギー関連	3,519	3,635	△116	△3.2	169	111	58	51.9
不動産	445	446	△1	△0.2	96	91	5	6.2
その他	1,232	1,078	154	14.2	57	62	△5	△8.4
調整額	△3,524	△2,986	△538	-	△515	△478	△37	-
連結	19,252	19,623	△371	△1.9	1,067	964	103	10.6

(注) セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。

- セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
- 「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売等。
- 「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エネルギーソリューション事業(エネルギーソリューション、エネルギーサービス等)、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4) 主要計数

(単位:億円、%)

	2019年度	2018年度	増減		2019年度	2018年度	増減
設備投資	2,270	2,237	33	D/Eレシオ	0.79	0.69	0.10
営業キャッシュ・フロー	2,130	2,464	△334	ROA	1.7	3.6	△1.9
有利子負債	9,050	8,032	1,018	ROE	3.8	7.4	△3.6

(注) 有利子負債、D/Eレシオは2019年3月末との比較

2. 2020年度（2021年3月期） 業績予想

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が国内外の事業環境に大きく影響を及ぼしております。
- 収支計画を大きく左右するガス販売量への影響は、検針日の関係から需要分野別の動向等を分析できるのが5月以降になります。
- 当社グループの事業領域が国内外で多岐にわたる中、各セグメントにおける影響範囲も日々拡大している状況にあります。
- 以上のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大が当社の事業に与える影響について、現時点において合理的な算定を行うのは困難であるため、**2020年度（2021年3月期）の連結業績予想は未定**とさせていただきます。
- 今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。